

## まちづくり・農業振興

### ●岡山観光情報センター(仮称)

**問** 岡山駅南地下広場に整備する岡山観光情報センターの業務内容と規模は。

**答** 観光客や市民の方々に、観光・文化・グルメ等の情報を提供し、岡山の歴史や文化に対する理解を深めてもらおうと考えている。

広場スペースでの各種イベント開催で、にぎわいの創出や本市全体のPR拠点としての機能も付加する。3名の職員が常駐し、年中無休で午前9時から午後9時までの運営としたい。

### ●市民会議での意見をまちづくりに反映

**問** 市民、事業者、行政が知恵を出し合う「市民会議」とはどういうものか。

**答** カルチャーゾーンや西川緑道公園、岡山駅周辺を含む都心づくりのために市民参加で自由に意見やアイデアを出してもらおう場として「水と緑の都心創生のための市民会議」の開催を平成21年度に予定している。

地域住民や商業関係者、まちづくり団体等に参加してもらい提案のあった意見やアイデアは今後のまちづくりに生かしたい。

### ●農業の担い手育成のための農業サポーターを募集

**問** 岡山市農業振興ビジョンに農業サポーター育成事業が掲げられているが、農業サポーター登録者数の目標値は。

**答** 平成21年度は20人、22年度は50人、25年度は100人、最終年度の30年度は200人を目標としている。

標としている。募集には広報紙やホームページ、チラシ等により積極的にPRに努める。大学農学部等関係機関との連携も図り、目標値の達成を目指したい。

### ●新規就農者確保を目指し県外でも支援事業をPR

**問** 岡山市新規就農者総合支援事業は県外にも広く周知

## 安全・安心

### ●新型インフルエンザ全庁的な対応策を検討

**問** 新型インフルエンザが世界的に流行した場合、被害を最小限にするための対策は。

**答** 市民生活を守るために市役所業務を継続して行える体制づくりや相談窓口の設置等の具体的な対応策等を今後策定予定の本市行動計画に盛り込む必要があると考えている。

また、無用な混乱や感染拡大を防ぐため、正しい知識の普及啓発にも努めたい。

すべきだが、どう周知を図るのか。

**答** 農業振興と雇用対策のために、平成20年12月に岡山市農業協同組合と協定を結び、本市独自の取り組みとして開始した。

県外の方にも新規就農者として本市に来てもらいたいと考えており、21年度からは東京・大阪等で開催の就農相談会でブースを設けPRに努めたい。

### ●安全・安心おかやま市民債まちづくりに活用

**問** 安全・安心おかやま市民債が発行されたが、その経過と活用方法は。

**答** 政令市移行と市制施行120周年を記念して発行した、総額10億円の市民債は、2日間で完売した。

集められた資金は、西消防署・消防防災センター建設事業、児童相談所(一時保護所)整備事業など、安全・安心なまちづくりに関連する事業に充て、一層の市民福祉向上のために活用する。



新しく開設した西消防署・消防防災センター